

参議院議員(比例代表 全国区)

赤池まさあき

～国づくり、地域づくりは、人づくりから～



日々勉強!
結果に責任!

来年度概算要求の目玉は「デジタル化」

デジタル化等の新規事業が四点、継続事業が四点!

常日頃からの車社会の

安全安心、環境の保全へのご尽力、そして、昨年来のコロナ禍での特定整備の新制度対応等、皆様のご努力には心より敬意を表します。

現在、各地で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されています。改めて感染症対策の徹底をお願い申し上げます。

八月三十一日(火)に、来年度概算要求等が行われました。自動車整備関係は次の八点です。

◎新規事業が四点

①各種申請手続きのデジタル化として、整備事業者が国交省への約二十の申請手続きについて、添付書類・審査方法の見直し、申請・審査手続きのオンライン化の調査研究を行います。

②自動車登録検査関係手続きのデジタル化として、オンライン申請の拡大(OSS利用拡大)、申請・審査のペーパーレス化、手数料や税金窓口でのキャッシュレス化、複数窓口の合理化等を実施します(裏面

参照)。

③脱炭素化対応の整備人材の育成確保として、整備士養成施設において、電動車等の効果的な教育方法とデジタル化教材の実証研究を行います。

④高齢者の事故防止に向けて、従来のサポカーの普及とともに、新技術を活用したサポカー二・〇を研究開発します。

◎継続事業が四点

⑤自動運転技術の開発・実用化として、レベル四の法規要件を策定し、国際標準化を推進し、令和六年十月から車載式事故診断装置(OBD)検査の運用方法・点検整備・検査・整備士資格制度等の高度化を調査し、通信技術等を活用して災害対応も強化します。

⑥生産性向上と事業基盤強化策として、働き方改革のための機器設備の導入、他業種連携、契約の実態把握、事業承継の好事例の調査、若者や女性へのPR強化、技能実習や特定技能の外国人材の確保、地域における事業者

間連携による自律的取組の発掘・支援の全国展開を行います。

⑦適切な保守・管理の推進として、自動車点検整備推進運動を行い、十月から定期点検項目に追加されるOBDによる診断を周知し、点検整備前検査のユーザーへのはがきでの啓発、大型車の車輪脱落事故の分析等を実施します。また、未認証工場の取締りを強化し、ユーザーへの注意喚起を行い、無車検車・無保険者対策も強化します。

⑧国では、電子制御装置の整備のためのスキャンツール普及に向けて、平成二十五年度から一部補助(三分の一、十五万円上限)を来年度も継続すべく調整中です。

九月一日からデジタル庁が発足し、利便性向上のため、行政サービスのデジタル化を加速していくこととなります。そのような中で、今後も自動車整備業界の振興に全力を尽くします。ご指導をお願い致します。(赤池まさあき)



日本自動車整備政治連盟 竹林会長から推薦状

赤池誠章(まさあき)

昭和三十六年山梨県生まれ。明治大学卒。松下政経塾出身。自動車整備士養成専門学校長を経て、衆議院議員に初当選。清和政策研究会(細田博之会長)に所属。平成二十五年の参院選比例代表(全国区)で国政復帰。国土交通委員会理事、文部科学大臣政務官、文部科学委員長を務め、現在自民党文部科学部会長(三期目)、自動車議員連盟、自動車整備議員連盟常任幹事。参議院議員二期目。

【国会事務所】

〒100-8962
千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館524号
TEL: 03-6550-0524
FAX: 03-6551-0524
HP: <https://www.akaike.com>

【自由民主党 党员募集】

現在自民党では党员を募集しています。詳細は事務所まで。



日々勉強！
結果に責任！

参議院議員(比例代表 全国区)

赤池まさあき

～ 国づくり、地域づくりは、人づくりから ～

令和3年(2021年)9月1日(水曜日)

自民党 Lib Dems
Liberal Democratic Party of JAPAN

国政ニュース

自動車登録検査関係手続のデジタル化

「紙」を前提とした申請・審査手続

- ・ OCR申請用紙への記入
- ・ 「紙」による添付書類・審査・処理
- ・ 手数料、重量税、自動車税「印紙」
- ・ 複数窓口での手続



デジタル化による申請・審査の合理化

- ・ オンライン申請の拡大(OSS利用拡大)
 - ・ 申請・審査のペーパーレス化
 - ・ 窓口におけるキャッシュレス化
 - ・ 支払窓口の合理化
- 等

申請・審査手続
のデジタル化



オンライン申請の拡大(OSS利用拡大)に向けた主な施策

- スマートフォンを用いた申請及び進捗状況の確認
スマートフォンによるOSS申請及び手続進捗状況の確認をできるようにする。

<スマートフォン活用のメリット>
OPCがなくても申請できるため
いつでもどこでも申請可能
○手軽に状況確認できる



- 車検証ICタグの情報を利用したOSS申請入力補助
電子車検証(令和5年1月導入予定)のICタグ内に格納された車検証情報をOSSポータルサイトに自動入力する。

スマートフォンなどで
車検証情報を読み取る



OSS申請画面

窓口業務フローの見直しに向けた主な施策

- 支払窓口業務のキャッシュレス化・合理化
検査登録手数料及び自動車重量税のクレジットカードでの一括決済を実現する。



PC/スマートフォンからクレジットカード情報を入力することによりキャッシュレス決済を実現し、印紙購入を不要に

- 申請者及び運輸支局等職員の負担軽減
 - ・PC/スマートフォンの画面入力により申請書を作成するサイトを導入し、申請書作成の負担を軽減する。
 - ・AIチャットボット等を導入し、職員の間合せ対応への負担を軽減する。

- 手続の進捗状況「見える化」
運輸支局等窓口において、受付時の番号札の発券や電子掲示板へ処理状況を表示する仕組みを導入する。

- 車検証更新手続のドライブスルー化

<現行>



<見直し後>



更新窓口を検査場出口に設置することにより、検査直後に車に乗ったまま車検証を受け取ることが可能に